

東大大海研事第158号
平成25年10月31日

各関係研究機関の長 殿

東京大学大気海洋研究所
共同研究運営委員会委員長
東京大学大気海洋研究所長
新 野 宏
(公印省略)

平成26年度東京大学大気海洋研究所 学際連携研究の公募について

標記のことについて、別紙のとおり公募いたしますので、貴機関の関係者に周知方よろしくお願いいたします。

平成26年度東京大学大気海洋研究所

学際連携研究公募要領

1. 公募事項

学際連携研究は、全国の個人またはグループの研究者と本研究所の教員が協力して行う公募型の共同研究です。海洋や大気に関わる基礎的研究および地球表層圏の統合的理解の深化につながる研究が審査の対象となります。特に、複数の学問分野の連携による学際的な共同研究の提案を期待します。研究には以下の二つの形態があります。

(1) 特定共同研究

本研究所が提案し、地球表層圏変動研究センターが中心となって計画的に推進する特定共同研究課題について、所内の研究グループと所外の研究者が協力して進める共同研究。特定共同研究課題とその概要については別表1を参照してください。

(2) 一般共同研究

全国の個人またはグループが提案する研究テーマについて、所外と所内の研究者が協力して進める共同研究で、本所の研究目的に貢献が期待できるもの。新しい研究の展開のきっかけとなるポテンシャルを秘めた萌芽的研究を歓迎します。また、新規プロジェクトの立案にむけてのフィージビリティ研究（打ち合わせ会議や予備調査の実施などを含む）も審査の対象となります。ただし、研究集会やシンポジウムの開催を目的とした提案は、本公募の対象とはしません。

2. 申請資格者

国・公立大学法人、私立大学及び公的研究機関の研究者、並びにこれに準ずる者。

3. 申請方法

申請に必要な様式は以下の大気海洋研究所ホームページよりダウンロードすることができます。
<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/coop/index.html>

(1) 特定共同研究

「特定共同研究申請書」（別紙様式1）1部を「6. 提出先」まで提出してください（封筒の表に「共同研究申請書在中」と朱書）。申請に当たっては、別表1の問い合わせ教員に連絡をとり、打ち合わせを行ったうえで、申請書を作成してください。

(2) 一般共同研究

「一般共同研究申請書」（別紙様式2）1部を「6. 提出先」まで提出してください（封筒の表に「共同研究申請書在中」と朱書）。申請にあたっては、大気海洋研究所のホームページ（<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/staff/index.html>）に掲示されている所内常勤教員（教授、准教授、講師、助教）に連絡をとり、打ち合わせを行ったうえで、申請書を作成してください。

4. 共同研究期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの期間。継続して共同研究の実施を希望する場合も、年度ごとに申請を受け、採否を決定します。なお、同一課題の実施期間は2年間を限度とします（すでに2年間実施した課題と、内容が類似している申請については、審査対象外となる場合がありますのでご注意ください）。

5. 申請期限

平成25年12月4日（水） 午後5時 （必着）

6. 提出先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学大気海洋研究所
国際・研究推進チーム共同研究担当
TEL 04-7136-6009 e-mail: iarp@aori.u-tokyo.ac.jp

7. 採否

共同研究の採否は、大気海洋研究所共同研究運営委員会および同学際連携研究部会において審査し、大気海洋研究所協議会で決定します。その結果は、大気海洋研究所長から申請代表者に通知します。申請が採択された場合、研究代表者は研究組織を構成する研究者の「共同研究承諾書」(別紙様式3)を取りまとめ「6. 提出先」あてに提出して下さい(ただし、所内共同研究者については不要)。

8. 共同研究の成果について

(1) 共同研究の代表者は、「学際連携研究報告書」(別紙様式4)と「学際連携研究報告書(別紙)」(別紙様式5)を、それぞれ1部ずつ、「6. 提出先」あてに提出して下さい。「学際連携研究報告書(別紙)」については、印刷物の他に、WORD形式の電子ファイルも提出して下さい。学際連携研究報告書(別紙)は、大気海洋研究所ホームページに掲示します。

*提出締め切りは、平成27年4月2日(木)(必着)とします。

(2) 共同研究の成果について論文を発表する場合は、当該論文の謝辞等に、本研究所の共同研究による旨を付記して下さい。

例(和文) 本研究は東京大学大気海洋研究所学際連携研究の支援を受けた。

(英文) This study was (partly) supported by the Interdisciplinary Collaborative Research Program of the Atmosphere and Ocean Research Institute, the University of Tokyo.

(3) 共同研究の成果について論文等を公表した時は、その別刷り2部又は電子ファイル(PDF)を「6. 提出先」あてに提出して下さい。

別表1 特定共同研究課題一覧

特定共同研究課題と概要	問い合わせ教員*
古環境変動研究： 古海洋・古気候の復元と解析や、そのモデリングを通して、古環境に関わる物質動態や変動機構の解明を行う研究	川幡穂高教授 (kawahata@) 横山祐典准教授 (yokoyama@)
海洋生態系変動研究： 海洋生態系の観測とモデリングの融合を通して、海洋資源変動、気候・生態系相互作用、物質循環とそれに関わる生物活動に関する理解を深める研究	羽角博康教授 (hasumi@) 伊藤幸彦准教授 (itohsach@)
生物遺伝子変動研究： エコゲノミクス・バイオインフォマティクスの方法論確立を通して、生物多様性および機能遺伝子の総合的理解を深める研究	木暮一啓教授 (kogure@) 岩崎渉講師 (iwasaki@)
大気海洋系変動研究： 大気海洋系の観測と高分解能モデリングを通して、大気海洋系の物理化学構造や変動機構の解明を行う研究	中島映至教授 (teruyuki.nakajima@) 佐藤正樹教授 (satoh@)

* 問い合わせ教員のメールアドレスは@のあとにaori.u-tokyo.ac.jpを加えてください。

(別紙様式1)

平成 26 年 度
東京大学大気海洋研究所学際連携研究
「特定共同研究」申請書

平成 年 月 日

東京大学大気海洋研究所長 殿

申請者 (代表者)

所属機関 _____

職名・氏名 _____

住所 _____ 電話番号 _____ e-mail _____

(自筆の場合 押印不必要)

下記により共同研究を実施したいので申請します。

記

1. 特定共同研究課題 (A~Dから選択)	A. 古環境変動 B. 海洋生態系変動 C. 生物遺伝子変動 D. 大気海洋系変動		
2. 所内の共同研究教員			
3. 研究課題			
4. 研究期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月		
5. 研究組織	氏 名	所 属	職 名 等
6. 必要経費 (単位: 千円) 経費については所内の共同研究教員にご相談ください。			
経費区分	金 額	積 算 内 訳	
物品費			
旅 費			
謝 金			
その他			
合 計			

7. 新規・継続の別（該当するものを○で囲んでください）。なお、同一課題の実施期間は2年間を限度とします。継続課題については、平成25年度の進捗状況と継続を希望する理由について「8. 研究分担および研究計画」の欄に記載してください。

新規 継続

8. 研究分担および研究計画（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式1の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

9. 期待される成果（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式1の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

10. 主な研究業績（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式1の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

上記共同研究を東京大学大気海洋研究所に申請することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

(別紙様式2)

平成 26 年度
東京大学大気海洋研究所学際連携研究
「一般共同研究」申請書

平成 年 月 日

東京大学大気海洋研究所長 殿

申請者 (代表者)

所属機関 _____

職名・氏名 _____

住所 _____ 電話番号 _____ e-mail _____

(自筆の場合 押印不必要)

下記により共同研究を実施したいので申請します。

記

1. 研究課題			
2. 研究期間	平成 年 月～平成 年 月		
3. 研究組織	氏 名	所 属	職 名 等
4. 所内の共同研究教員			
5. 必要経費 (単位: 千円)	経費については所内の共同研究教員にご相談ください。		
経費区分	金 額	積 算 内 訳	
物品費			
旅 費			
謝 金			
その他			
合 計			

6. 新規・継続の別（該当するものを○で囲んでください。なお、同一課題の実施期間は2年間を限度とします。継続課題については、平成25年度の進捗状況と継続を希望する理由について「7. 研究分担および研究計画」の欄に記載してください。

新規 継続

7. 研究分担および研究計画（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式2の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

8. 期待される成果（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式2の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

9. 主な研究業績（必要ならば枠を拡大しても結構ですが、別紙様式2の総ページ数が3ページ以内に収まるようにしてください。）

上記共同研究を東京大学大気海洋研究所に申請することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

(別紙様式3)

共同研究承諾書

研究代表者

所属機関

職名

氏名

殿

1. 研究課題

2. 共同研究者

氏名	職名等	所属	備考

上記の者が東京大学大気海洋研究所との共同研究に参加することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

(別紙様式4)

学際連携研究報告書

平成 年 月 日

東京大学大気海洋研究所長 殿

申請者 (代表者)

所属機関

職 名

氏 名

印

下記学際連携研究について別紙のとおり報告します。

記

1. 研究の区分 (該当するものにチェック) 特定共同研究 一般共同研究

2. 研究課題

3. 共同研究者

氏 名	所 属	備 考

物理分野と生物分野の連携による海洋過程の研究

A study on oceanic processes by a cooperation of physicists and biologists

物理 太郎, 柏大・物理研, E-mail: butsu(at)kashiwa-u.ac.jp
生物 花子, 東大・大気海洋研, E-mail: seibu(at)aori.u-tokyo.ac.jp
Taroh Butsuri, Physics Research Lab, Kashiwa University
Hanako Seibutsu, Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

Abstract (Times New Roman 10pt)

Oceanic processes are studied by a cooperation of physicists and biologists. (Times New Roman 9pt)

(Abstract should not be longer than 10 lines).

1. はじめに(節の表題: MS ゴシック 9pt)

(本文: 明朝 9pt) 海洋の中には、様々な学問分野が関わる過程が関与しており、その研究を進めるためには学際的なアプローチが不可欠である(物理・生物, 2011; Butsuri and Seibutsu, 2009)。

2. 問題設定・方法

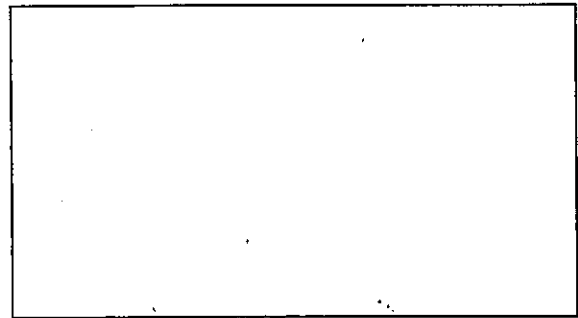


Fig. 1 A three-dimensional image of the cooperative research.

4. まとめと今後の展望

3. 結果と考察

参考文献

- (1) 物理太郎, 生物花子, 2011: “物理分野と生物分野の連携による海洋過程の研究” 日本学会誌, 88, 21-25.
- (2) Butsuri, T., and H. Seibutsu, 2009: “A study on oceanic processes by a cooperation of physicists and biologists”, J. Phys. Soc. Japan, 88, 63-7